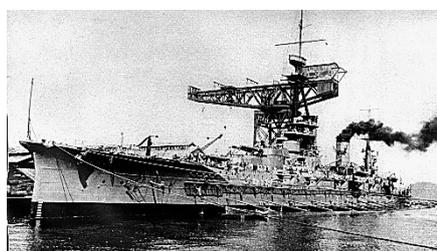


ワケ カタチには理由がある(番外編7)

Shape follows
Function & Taste

～ハンマーヘッドクレーン(Hammer Head Crane)



(↑在りし日の横須賀のハンマーヘッド・戦艦山城と
出典：「丸スペシャル No:3 戦艦扶桑・山城」)

(↑横浜のハンマーヘッド)
(長崎の同タイプのジブクレーン→)
いずれも撮影筆者



橋梁や鉄塔などトラス構造を持つ巨大建造物には不思議な魅力があります。横浜の大さん橋にハンマーヘッドクレーンがありますが、これもその一つです。このハンマーヘッドクレーンは大正時代に英国から5基が輸入され、横浜、横須賀、呉、佐世保、長崎に設置されて、そのうち3つ(多分、横須賀と呉のものが破却)が現存しているそうです。戦前、海軍工廠で使用されたものは1号起重機と呼ばれたようで、やはり画になるからでしょう、大型の軍艦とともに撮影された写真が多く残っています。ウォーターラインシリーズの港湾セットでも模型化されているので、我々モデラーにおなじみですねw。また、海軍工廠では4号起重機と呼ばれる、より小型のジブクレーン(回転可能で小回りの利くクレーン)も併用され、長崎では同タイプのクレーンが現在も活躍してます(コロナ前に行った軍艦島ツアーの船から見ました)。どっしりしたグレーのハンマーヘッドクレーンもカッコいいですが、紅白に塗られた戦後塗装のジブクレーンも軽快な感じで素敵です。

【模型について】

いずれも和巧(WAKOU)紙創り(Kamizukuri)シリーズ 1/700 のキットです。厚紙を精密なレーザー加工で切り抜いている高品質のキットです。いずれも箱庭技研の背景シートと、手元にあった食玩の1/700の艦船を水面シート上に置いて、お手軽にジオラマ撮影しました。(中川裕幸 2025年6月)